

令和5年度

危険物取扱者試験 試験案内

危険物取扱者は社会が求める〈国家資格〉です。

試験案内は最後までよく読んで、記載されている内容に同意した上でお申し込みください。
申し込まれた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意したものとみなします。
また、この試験案内は合格発表まで大切に保管してください。

危険物取扱者とは

○一定の数量以上の危険物を貯蔵し、又は取り扱う工場、ガソリンスタンド、貯蔵タンク、タンクローリー等の施設は、危険物の種類に応じた危険物取扱者免状を持つ危険物取扱者を置かなければならないと決められています。

○多くの事業所では危険物取扱者の資格を必要としています。

自動車工業	機械工業	食品化学工業	医薬品工業	化粧品業
金属工業	塗料工業	石油化学工業	肥料工業	ソーダ工業
アンモニア工業	紙・パルプ工業	高分子化学工業	輸送業	自動車整備工場
ホームセンター	ビル管理会社	研究機関等		

○危険物取扱者免状は、取り扱える危険物の種類に応じて、甲・乙・丙の3種類に分類されます。

甲 種	全類の危険物の取扱い・定期点検・保安の監督
乙 種	免状に指定する種類の危険物の取扱い・定期点検・保安の監督
丙 種	第4類の危険物のうち、ガソリン、灯油、軽油、重油等の指定された危険物の取扱い・定期点検

※甲種又は乙種危険物取扱者が立ち会えば、免状を持たない者も危険物を取り扱うことができます。また、甲種、乙種または丙種危険物取扱者が立ち会えば、免状を持たない者も危険物施設の定期点検を行うことができます。

○試験についての問合せ先

○書面による願書の提出先（郵送又は持参）

（一財）消防試験研究センター岩手県支部

受付時間 9時～17時（土・日・祝日を除く）

【TEL】 019-654-7006

【FAX】 019-622-0922

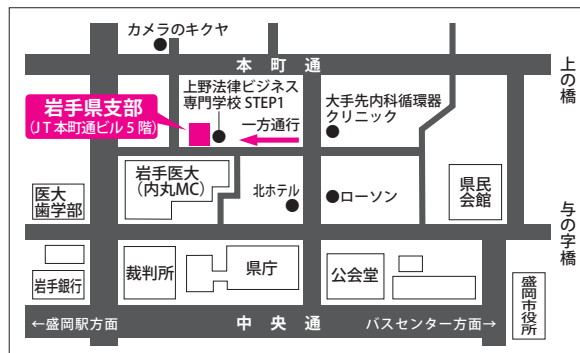
【住所】 〒020-0015

盛岡市本町通1-9-14

JT本町通ビル5階

[当センターホームページ]

<https://www.shoubo-shiken.or.jp/>



目 次

1	試験の実施日程・会場等	P3
	(1) 試験実施日程等	
	(2) 試験の実施会場（予定）	
2	試験の概要	P4～6
	(1) 受験の申請から免状交付までの流れ	
	(2) 実施する試験の種類	
	(3) 試験種類、試験科目、問題数及び試験時間	
	(4) 試験開始時刻	
	(5) 試験の方法	
	(6) 併願・複数種類の受験	
	(7) 合格基準	
3	書面申請の方法	P6～7
	(1) 申請に必要な書類等	
	(2) 試験手数料	
	(3) 注意事項	
4	電子申請について	P7
5	甲種危険物取扱者試験	P8～9
	(1) 受験資格	
	(2) 科目免除	
6	乙種危険物取扱者試験	P9
	(1) 受験資格	
	(2) 科目免除	
7	丙種危険物取扱者試験	P10
	(1) 受験資格	
	(2) 科目免除	
8	試験に関する注意事項	P10～11
	(1) 受験票	
	(2) その他注意事項	
9	団体申込み（書面申請）	P12
10	個人情報の取り扱い	P12
11	試験終了後の手続き	P13
	(1) 合格発表	
	(2) 合格者の免状交付申請手続き	
12	受験願書記入例（A面）	P14
13	受験願書記入例（B面おもて）	P15
14	受験願書記入例（B面うら）	P16
	〈甲種の受験資格関係資料〉	
別表 1	化学に関する学科等の例	P17
別表 2	化学の授業科目例	P17～19
書式例 1・書式例 2	証明書	P19

消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により、岩手県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

1 試験の実施日程・会場等

（1）試験実施日程等

回	試験日	受験地	電子申請の受付期間	書面申請の受付期間 (郵送または窓口持参)	合格発表予定日
第1回	6月24日(土)	盛岡市・奥州市・大船渡市 二戸市	5月8日 } 5月15日 (午後5時締め切り)	5月11日 } 5月18日 (当日消印有効)	7月12日
第2回	7月1日(土)	花巻市・釜石市・久慈市			7月20日
第3回	7月8日(土)	盛岡市・一関市・宮古市			7月27日
第4回	9月30日(土)	花巻市・一関市・大船渡市 二戸市	8月14日 } 8月21日 (午後5時締め切り)	8月17日 } 8月24日 (当日消印有効)	10月19日
第5回	10月7日(土)	盛岡市・奥州市・宮古市			10月26日
第6回	10月14日(土)	盛岡市・釜石市・久慈市			11月1日
第7回	令和6年 1月13日(土)	盛岡市・大船渡市・二戸市	11月21日 } 11月28日 (午後5時締め切り)	11月24日 } 12月1日 (当日消印有効)	令和6年 1月31日
第8回	令和6年 1月20日(土)	盛岡市・奥州市・一関市 宮古市			令和6年 2月7日
第9回	令和6年 1月27日(土)	花巻市・釜石市・久慈市			令和6年 2月15日
第10回	令和6年 3月23日(土)	盛岡市・奥州市 *乙種第4類のみ実施	令和6年 2月12日 } 2月19日 (午後5時締め切り)	令和6年 2月15日 } 2月22日 (当日消印有効)	令和6年 4月10日

(注) 合格発表は、予定日より早まる場合もあります。

（2）試験の実施会場（予定）

試験は次の会場で行う予定です。受験願書の**受験地欄には太枠内赤字の市名**を書いてください。試験会場を指定することはできません。

受験地	試験会場（予定）	駐車場の有無
盛岡市	建設研修センター 盛岡市総合福祉センター 他	有（有料・台数制限あり） 無
花巻市	富士大学 他	有（台数制限あり）
一関市	修紅短期大学 他	有（台数制限あり）
釜石市	県立釜石商工高等学校 他	有（台数制限あり）
久慈市	久慈市防災センター 他	有（台数制限あり）
奥州市	丸谷興務店株式会社 他	有（台数制限あり）
大船渡市	県立大船渡東高等学校 他	有（台数制限あり）
宮古市	県立大学宮古短期大学部 他	有（台数制限あり）
二戸市	二戸地域職業訓練センター 他	有（台数制限あり）

(注1) 試験会場は収容人員等の関係で、**変更になる場合もありますので、受験票で確認してください。**

なお、受験票に記載された試験会場以外での受験はできません。

(注2) 試験会場への直接の問い合わせは絶対に行わないでください。

(注3) **駐車場有となっている試験会場でも駐車台数に制限があります。できるだけ、公共交通機関等を利用して来場ください。**駐車場が満車の場合は、各自の責任において有料駐車場等を確保してください。

(注4) **受験票に駐車場なしと記載されている会場には、絶対に車で来場しないでください。駐車に係るトラブルについて、当センターは一切責任を負いません。**

2 試験の概要

(1) 受験の申請から免状交付までの流れ

受験申請方法はインターネットによる受験申請（以下「電子申請」という。）と書面による受験申請（以下「書面申請」という。）の2通りがあります。**電子申請の受付期間と郵送等による書面申請での願書受付期間は異なりますのでご注意ください。**

①電子申請の方法

電子申請をする為の条件

- ① インターネットに接続できる環境があり、プリンターで印刷できる方
- ② 電子メールアドレスをお持ちの方

当センターホームページにアクセス

受付は受付開始日の午前9時～締切日の午後5時までで、24時間対応です。（締切直前はアクセスが集中することが予想されますので、余裕を持って申請してください。）

願書情報入力

利用許諾同意後、画面の指示にしたがって入力してください。

試験手数料の払い込み

以下の中から選択して、お支払いください。

- | | |
|---|-----------------|
| <ol style="list-style-type: none">① ペイジー② コンビニエンス決済③ クレジットカード | 別途、払込手数料がかかります。 |
|---|-----------------|

受験票の印刷

試験日の概ね2週間前までに、受験票の受取りについてのメールを送信しますので、**受験票をダウンロードし、印刷してください。**

②書面申請の方法

試験案内・願書・払込用紙の入手

常置場所

- ① 県内各消防本部・消防署等
- ② 岩手県庁 消防安全課
- ③ (一財)消防試験研究センター岩手県支部

受験願書の記入

14ページの記入例を参考に、記入してください。

試験手数料の払い込み

必ず当センター指定の払込用紙を使って、郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払い込みしてください。（別途、払込手数料がかかります。）

願書の提出（郵送又は持参）

願書締切間際に提出した書類に不備がある場合、受理できない場合がありますので、願書はできるだけ早めに提出してください。

受験票の郵送

試験日の概ね2週間前までに送付します。
普通郵便で送付しますので、表札などを出していない方には、受験票が届かない場合があります。
受験票が到着しない場合、紛失した場合等は当支部にご連絡ください。

試験当日

必ず受験票に写真を貼って持参してください。

（受験票を持参しない場合、写真を貼っていない場合は受験できないことがあります。）

受験票に記載の集合時刻までに、試験室の指定された席に座ってください。

合格発表

- ① 当支部掲示板に合格者の受験番号を公示（正午からは、ホームページにも掲載します。）
- ② 受験者全員に試験結果通知書を送付（電子メールでの試験結果通知は行いません。）

免状交付申請の手続き

試験結果通知書と一連で免状交付申請書になっていますので、そのハガキの説明をよく読んで、申請期間内（免状交付申請書に記載）に手続きしてください。

免状交付

申請書受付後、概ね2週間以内に簡易書留郵便で免状を送付します。

(2) 実施する試験の種類

試験種類	取 扱 い の で き る 危 険 物
甲 種	全種類の危険物
乙 種	第1類 塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類等の酸化性固体
	第2類 硫化りん、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウム等の可燃性固体
	第3類 カリウム、ナトリウム、アルキルアルミニウム、黄りん等の自然発火性物質及び禁水性物質
	第4類 ガソリン、アルコール類、灯油、軽油、重油、動植物油類等の引火性液体
	第5類 有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物等の自己反応性物質
	第6類 過塩素酸、過酸化水素、硝酸等の酸化性液体
丙 種	ガソリン、灯油、軽油等

(3) 試験種類、試験科目、問題数及び試験時間

試験種類	試験科目	略称	問題数	合計	試験時間
甲種危険物取扱者試験	① 危険物に関する法令	法令	15問	45問	2時間30分
	② 物理学及び化学	物化	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	性消	20問		
乙種危険物取扱者試験 (第1類～第6類)	① 危険物に関する法令	法令	15問	35問	2時間
	② 基礎的な物理学及び基礎的な化学	物化	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	性消	10問		
丙種危険物取扱者試験	① 危険物に関する法令	法令	10問	25問	1時間15分
	② 燃焼及び消火に関する基礎知識	燃焼	5問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	性消	10問		

(4) 試験開始時刻

試験の種類		受付開始時刻	説明開始時刻 (時間厳守)	試験開始時刻
午前	甲種・乙種第1類～第6類	午前9時	午前9時30分	午前10時
午後	丙種(乙種第4類)	午後1時20分	午後1時30分	午後2時

(注) 乙種第4類は、「午前」と「午後」に分けて実施する場合があります。受験者本人が選択することはできません。必ず受験票を確認してください。

(5) 試験の方法

- ① 受験票に記載されている試験日・試験種類・試験会場・試験の一部免除の内容により試験を行います。
(必ず事前に受験票を確認してください。)
- ② マークシートを使う筆記試験で行います。
- ③ 甲種・乙種は5肢択一式、丙種は4肢択一式で行います。
- ④ 試験当日は、**写真を貼った受験票、鉛筆(HB又はB)又はシャープペンシルとプラスチック消しゴム**を必ず持参してください。
- ⑤ 試験会場では、電卓・計算尺・テンプレート等の定規類、携帯電話、スマートフォン等の端末機器の使用を禁止します。

(6) 併願・複数種類の受験

- ① 併願受験（午前の試験と午後の試験を受験する場合）

【例】午前中に乙種第4類を、午後に丙種を受験することができます。

- ② 複数受験（午前の試験を複数受験する場合）

- (ア) 既に、**乙種危険物取扱者免状を持ち、他の乙種の受験を希望する方は同一時間帯に3種類**まで複数受験することができます。

【例】乙種第4類の免状を持っている方は、乙種第1類・第2類・第6類等の組み合わせで同時に受験することができます。試験時間は、35分×3種類＝1時間45分となります。

- (イ) **乙種危険物取扱者免状を持っていない方は、同一時間帯に乙種を2種類**まで複数受験することができます。

【例】乙種第1類と第4類のように、受験を希望する乙種試験を2種類まで選択できます。

なお、試験時間は、2時間（1種類の試験時間）＋45分（他の1種類の試験時間、解答カードへの転記時間含む）＝2時間45分となります。

願書は受験する種類ごとにそれぞれ作成し、まとめて提出してください。

(7) 合格基準

各試験とも、試験科目ごとの正答率が、それぞれ60%以上であること。

（試験科目の免除を受けた受験者については、その科目を除く。）

なお、乙種第1類又は第5類の受験者であって、試験科目の一部が免除された方については、免除された以外の問題で上記の正答率であること。

3 書面申請の方法

(1) 申請に必要な書類等

提出書類名		留 意 点
受 験 願 書		14ページの記入例を参照し、記入してください。
振替払込受付証明書		当センター指定の「 振替払込受付証明書（お客さま用） 受験願書添付用 」を受験願書のB面おもての指定欄にのり付けしてください。 （詳細については、15ページを参照ください。）
該 当 者 の み	危険物取扱者免状を取得している方	危険物取扱者免状の表と裏のコピー
	甲種の受験者	受験資格を証明する書類（8ページ5（1）を参照）
	乙種第1類又は第5類の試験科目一部免除を受ける方	証明する免状のコピー（9ページ6（2）を参照）
	丙種の試験科目免除を受ける方	資格を証明する書類（10ページ7（2）を参照）

(2) 試験手数料

（※非課税）

甲種	乙種	丙種
6,600円	4,600円	3,700円

一旦払い込まれた試験手数料はお返しできません。
払い込み方法の詳細は15ページをご覧ください。

(3) 注意事項

- ① 受験願書を郵送する場合は、願書を折らないように注意してください。
- ② 普通郵便又は特定記録郵便で郵送してください。各**受付期間最終日の郵便局の消印があるものまで有効**です。
- ③ 受付期間をすぎた受験願書、及び記載事項等に著しく不備のある受験願書、又は虚偽の記載をしたり適正を期することができない受験願書は受理できません。この場合は、受験申請書類等を返却します。
その際の返却費用は、本人負担となります。
- ④ 一旦提出し、受理された願書、その他の提出書類は、お返しできません。
- ⑤ **受験願書受付締切日以降の、「試験日」・「試験種類」・「受験地」の変更及び取消しはできません。**

4 電子申請について

① 電子申請の利点

- (ア) 夜間や休日、24時間いつでも申請可能。
- (イ) 受験願書の入手は不要。
- (ウ) 再受験者の証明書類の提出が簡略化。
- (エ) 試験手数料の払込みは、コンビニ、クレジットカード、ペイジー等と豊富。
別途、払込手数料がかかります。
- (オ) 受験票は、インターネットを利用して印刷。
- (カ) 団体申請は、代表者の一括入力による登録が可能。

② 電子申請できる試験種別

- (ア) 証明書添付が不要な危険物取扱者試験（乙種全類、丙種）
 - (イ) 既得免状を受験資格要件とする危険物取扱者試験（甲種）
（乙種第1類又は第6類、第2類又は第4類、第3類、第5類の4種類以上を有する方）
- ※電子申請ができる試験種類は、**1日の試験で1種類のみ**となります。（併願・複数申請は不可）

③ 再受験の電子申請

過去3年以内に受験し、同じ試験種類を再度受験する場合には、証明書は不要で、電子申請することができます。（前回の受験票又は試験結果通知書が必要）

④ 受付期間

受付期間は、各試験ごとに定められており、日程を十分ご確認のうえご利用ください。
（3ページ1（1）を参照）

⑤ 利用方法等

詳しくは、（一財）消防試験研究センターのホームページに利用方法やQ & Aが掲載されていますので、ご確認のうえお申し込みください。

⑥ 注意事項

- (ア) **電子申請で申込みした場合、受験票は各自で印刷して頂きます。**
- (イ) 電子申請手続きは変更される場合がありますので、必ず当センターのホームページでご確認ください。
- (ウ) システム保守整備等のため、電子申請受付期間中にシステムを停止する場合や、予期せぬ機器停止や通信障害などが起きた場合のトラブルについては、一切責任を負いません。また、電子申請にあたり、受験者側のパソコンの不具合や通信障害等によるトラブルに関しても一切責任を負いません。
- (エ) スマートフォンからも電子申請はできますが、願書情報の入力において、携帯電話会社の提供するメールアドレスやフリーメールアドレスを登録された場合は、携帯電話会社やフリーメール運営会社が行っている迷惑メール対策等により、当センターから送るメールが受信できないことがあります。

⑦ 電子申請についての問合せ先

（一財）消防試験研究センター電子申請室 受付時間9時～17時（土・日・祝日を除く）
全国共通専用電話 0570-07-1000(有料) ホームページ <https://www.shoubo-shiken.or.jp/>

5 甲種危険物取扱者試験

(1) 受験資格

次表に示す対象者に該当する方は、甲種危険物取扱者試験の受験資格があります。

対 象 者	大学等及び資格詳細	願書資格欄 記入略称	証明書類
① 大学等において 化学に関する学科 等を修めて卒業し た方（専門職大学 の前期課程を修了 した方） （17ページ別表1 参照）	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校 大学、短期大学、高等専門学校の専攻科 高等学校、中等教育学校の専攻科（修業年限2年以上のものに限る。） 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等 専門職大学の前期課程を修了	大学等卒	卒業証明書又は 卒業証書 （学科等の名称が 明記されている もの）
② 大学等において 化学に関する授業 科目を15単位以 上修得した方 （17～19ページ別 表2参照）	大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校（高等専門学校にあっては専門科目に限る）、大学院、専門職大学院、専修学校 大学、短期大学、高等専門学校の専攻科 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	15単位	単位修得証明書 又は成績証明書 （修得単位が明記 されているもの）
③ 乙種危険物取扱 者免状を有する方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の方	実務2年	乙種危険物取扱 者免状及び乙種 危険物取扱実務 経 験 証 明 書 （受験願書B面裏）
	次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方 ○第1類又は第6類 ○第2類又は第4類 ○第3類 ○第5類	4種類	乙 種 危 険 物 取 扱 者 免 状
④ 修士・博士の学 位を有する方	修士、博士の学位を授与された方で、化学に関する事項を専攻した方（外国の同学位も含む。）	学位	学位授与証明書、 学位記、修了証書 又は修了証明書 （学位を取得して いること、かつ、 化学に関する事 項を専攻したこ とがわかるもの）

- 【備考】
- ①の高等学校及び中等教育学校の専攻科については修業年限が2年以上のものに限ります。
 - ①、②の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか次のいずれかの書面が必要になります。（ただし、表の証明書類に次の（1）又は（2）の内容が記載されている場合は、次の（1）又は（2）の書面は不要です。）
（1）専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し
（2）専修学校の専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1700時間以上であることを証明する書面。（19ページ書式例1を参照してください。）
 - ②の大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校、大学院、専門職大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず算定することができます。放送大学も同様に算定できます。
また、複数の大学等において単位を修得した場合は、それぞれの単位を通算することができます。

- 4 ②の「単位修得証明書」は、19ページ書式例2を参照してください。
- 5 ③の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。受験願書のB面裏の様式を使用してください。
- 6 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業者及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細はお問い合わせください。
- 7 過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことのある方は、その時の受験票又は試験結果通知書を提出することにより受験資格の証明書に代えることができます。(コピー可)
- 8 「願書資格欄記入略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。
- 9 証明書類のうち、「免状」、「卒業証書」等、証明書類欄の網み掛け(■部分)をしてある書類については、コピーしたものを使用してください。

(2) 科目免除

甲種危険物取扱者試験の科目免除はありません。

6 乙種危険物取扱者試験

(1) 受験資格

受験資格は必要ありません。どなたでも受験できます。

(2) 科目免除

既に乙種危険物取扱者免状を有する方は、危険物に関する法令(法令)・物理学及び化学(物化)の全部が免除になります。また、乙種第1類若しくは第5類の受験者で火薬類免状を有する方は、申請により、物理学及び化学(物化)の一部、危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法(性消)の一部を免除します。

乙種危険物取扱者試験における試験科目の免除については下表のとおりです。

免除資格者	免除類別	試験科目(略称)	免除内容	問題数	合 計	試験時間
乙種危険物取扱者免状を有する方	全 類	①法令	全部免除	0問	10問	35分
		②物化	全部免除	0問		
		③性消		10問		
火薬類免状を有し、科目の一部免除を申請する方	第1類 第5類	①法令		15問	24問	1時間30分
		②物化	一部免除	4問		
		③性消	一部免除	5問		
乙種危険物取扱者免状を有し、かつ火薬類免状を有する科目免除申請者	第1類 第5類	①法令	全部免除	0問	5問	35分
		②物化	全部免除	0問		
		③性消	一部免除	5問		

【備考】① 試験科目(略称)は5ページの(3)を参照してください。

② 火薬類免状は、次の免状を意味します。

甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状(火薬類取締法)

甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状(火薬類取締法)

7 丙種危険物取扱者試験

(1) 受験資格

受験資格は必要ありません。どなたでも受験できます。

(2) 科目免除

丙種危険物取扱者試験における試験科目免除及び添付証明書については、下表のとおりです。

免除資格者	試験科目	免除内容	問題数	合 計	試験時間
5 年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第 4 項の消防学校の教育訓練のうち、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	危険物に関する法令		10問	20問	1 時間00分
	燃焼及び消火に関する基礎知識	全部免除	0問		
	危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法		10問		
証明書類	消防団員歴は消防団長が発行する証明書及び消防学校の教育修了証（教育修了証はコピーで支障ありません）				

【備考】 過去にいずれかの支部で受験したときの受験票又は結果通知書に、科目免除資格者である資格判定コードが印字されている場合は、そのときの受験票又は結果通知書を提出することにより科目免除資格者の証明書に代えることができます。(コピー可)

8 試験に関する注意事項

(1) 受験票

【重要】 受験票には、必ず写真を貼付してください。受験票を忘れたり、写真を貼っていない場合には受験できないことがあります。

書面申請者の受験票は試験日の概ね2週間前までに送付します。届かない場合や、記載事項に誤りがある場合は速やかに当支部まで連絡してください。

電子申請の方は自分で受験票を印刷し、以下の条件の写真を貼ってください。
(受付期間終了後、申請時に入力した電子メールアドレスあてに受験票がダウンロードできる旨のメールを当センターから送信します。)

写真は必ずのりで貼付し、セロハンテープは使用しないでください。

書面申請者に送付する受験票イメージ

危険物取扱者試験 受験票 (控)

受験番号 E1-4002 試験の種類 乙種第4類

氏名 ○○ ○○

試験日時 年 月 日 [1/2]
09時30分集合 10時00分試験開始

試験会場

受験料 先納金なし 資格判定コード 01

取得先状

注: 試験内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
受験票裏面に注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。
次の場合は受験することができません。
1 受験票がない場合
2 受験票に写真を貼っていない場合
3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
この受験票(控)は、合格後の復習と再受験の申し込み
に必要ですので、大切に保管してください。

危険物取扱者試験 受験票

写真
縦4.5cm×横3.5cm
写真の裏面に氏名・年齢
及び撮影年月日を記載
する(裏面に記載したものを
(正印、無印、無背景の上三
分身像又はパスポート規格)
しっかりとリ付けて
下さい。

受験番号 E1-4002 試験の種類 乙種第4類

氏名 ○○ ○○

試験日時 年 月 日
09時30分集合 10時00分

試験会場

受験料 先納金なし 資格判定コード 01

取得先状

0000000000000000 先なし
000-00-0000 000000

試験当日、この受験票は回収します。

貼付する写真の条件

- ① 縦4.5cm、横3.5cmの大きさで枠のないもの
- ② 受験日前6か月以内に撮影したもの
- ③ 無帽(宗教上又は医療上の理由を除く)、無背景、正面上三分身像又はパスポート規格
- ④ 鮮明なもの(デジタルカメラで撮影した写真を使用する場合は、従来の写真と同等以上の画質で、写真印刷専用紙に印刷したもの)

受験票の氏名欄は受験者の氏名を
かい書で記入してください。

電子申請者が印刷する受験票イメージ

注意 事項

- 1 次の場合は受験することができません。
 - (1) 受験票がない場合
 - (2) 受験票に写真を貼っていない場合
 - (3) 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
- 2 受験票に記載している集合時間までに入室してください。
- 3 受験票、鉛筆（白又はH4B）、消しゴムを持参してください。
- 4 試験会場までの電話の問い合わせはしないでください。
- 5 不正行為及び係員の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とします。
- 6 本人確認のため、身分証明書（運転免許証等）の提示をお願いすることがあります。
- 7 電話による合否の問い合わせには、応じられません。
- 8 試験会場までの特定業者による試験結果通知の有料サービスは本センターと一切関係ありませんので、求めています。
- 9 試験日時の変更が生じた場合は、当センターのホームページに緊急情報又は変更部からの重要なお知らせとして掲示します。
- 10 指定された場所以外は受験できません。
- 11 試験会場によっては全面禁煙のところもあります。
- 12 受験票に「駐車場なし」と記載されている試験会場には、車で来場しないでください。
- 13 駐車場に係るトラブルについては、一切責任を負いません。
- 14 受験票の記載事項に誤りがある場合は、下記までご連絡ください。

（一財）消防試験研究センター 岩手県支部
 〒020-0015 弘 1-1 019-654-7006
 岩手県盛岡市本町通 1-0-14 J 本町通ビル5階

危険物取扱者試験 受験票

写 真

縦4.5cm×横3.5cm

写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載
 6ヶ月以内に撮影したもの
 （正面、無帽、無背景の上
 三分割像又は五分三分割像）
 しっかりのり付けして下さい。

受験番号	E1-4001	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	○○ ○○		
氏 名	受験氏名を（仮）名で記入してください。		
試験日時	年 月 日 (1/2) 09時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場			
免除科目	免除科目なし		資格判定コード 01
既得免許	00000000000000000000000000000000 免なし 000-00-0000000000		

試験当日、この受験票は回収します。

切 り 取 る こ と が だ い

危険物取扱者試験 受験票（控）

受験番号	E1-4001	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	○○ ○○		
氏 名	○○ ○○		
試験日時	年 月 日 (1/2) 09時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場			
免除科目	免除科目なし		資格判定コード 01
既得免許	00000000000000000000000000000000 免なし 000-00-0000000000		
受験者現住所	岩手県○○市○○町 ○-○-○		

注：記載内容を確認し、訂正依頼がありましたら、ご連絡ください。
 在官手帳等をお送りください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。
 次の場合は受験することができません。

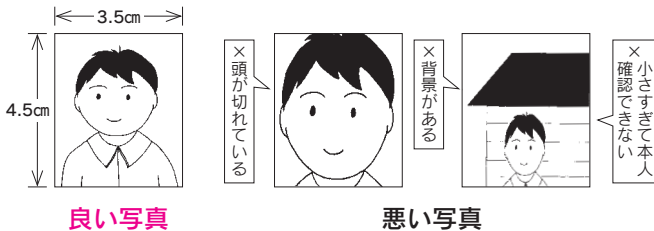
- 1 受験票がない場合
- 2 受験票に写真を貼っていない場合
- 3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合

この受験票（控）は、合格発表の通知と再受験の申し込みに必要ですので、大切に保管してください。

貼付する写真の条件

- ① 縦4.5cm、横3.5cmの大きさ
で枠のないもの
- ② 受験日前6か月以内に撮影したもの
- ③ 無帽（宗教上又は医療上の理由
を除く。）、**無背景**、正面上三分身
像又はパスポート規格
- ④ **鮮明なもの**（デジタルカメラで
撮影した写真を使用する場合は、
従来の写真と同等以上の画質で、
写真印刷専用紙に印刷したもの）

受験票の氏名欄は受験者の氏名を
かい書で記入してください。



写真は、試験当日の本人確認及び免状作成に使用します。写真裏面には撮影年月日、氏名及び年齢を記入し、受験票にしっかりとのり付けしてください。**本人と確認できない写真や条件に合わない写真を持参した場合、受験できないことがあります。**

複数受験者はそれぞれの受験票に写真を貼付してください。(例) 3 種類の複数受験の方は写真が 3 枚必要です。

(2) その他注意事項

- ① 試験日当日、試験問題が紛失した場合、聞き取り調査及び持ち物検査をすることがありますのであらかじめご了承ください。
- ② 試験問題集及び解答カードは持ち帰ることはできません。また、試験問題の一部を切り取ったり、カメラ等で撮影することもできません。このような行為は、失格となりますので注意してください。
- ③ 参考書、法令集等の参照は一切できません。
- ④ カンニング等により不正行為とみなされた場合、受験は直ちに中止、退室となり、試験は失格となります。
- ⑤ (一財)消防試験研究センターは、試験実施機関であり、問題集の出版や販売及び講習会等は、一切行っておりません。
- ⑥ 事故等により会場や日程を変更する場合には、岩手県支部からの緊急情報としてホームページに掲示します。特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報に対処して試験日時を変更する場合の緊急情報は、試験開始時間の2時間前までに掲示します。

9 団体申込み（書面申請）

① 受験手数料の一括払込

受験者名簿を添えて、名簿順に願書を並べて提出してください。「振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書添付用**」は、名簿の一番上の受験者の願書（B面）指定欄に貼付してください。

② 受験票・結果通知書の一括送付

受験願書の提出から結果通知書の受領まで、まとめて手続きを行うことを希望される事業所及び学校等の団体は、願書を提出する前に当支部へ申し出てください。

10 個人情報の取り扱い

（一財）消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、収集した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

① 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

（ア）個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

（イ）利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、試験における座席への氏名表示、受験票への表示、結果通知書及び免状交付申請書、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

② 当センターは、利用目的を達成のため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。

11 試験終了後の手続き

(1) 合格発表

合格者の受験番号を、当センターのホームページ上に合格発表日の正午から掲示します。(モバイルサイトには掲載されません。)また、岩手県支部の掲示板に合格者の受験番号を公示するとともに、受験者には郵便ハガキで可否の結果を直接通知します。

なお、試験結果の可否に関する電話による問い合わせ、試験問題及びその解答に関する問い合わせには、一切応じられません。

試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは当センターとは関係ありませんので注意してください。

(2) 合格者の免状交付申請手続き

試験に合格された方は、指定された日(免状交付申請書に記載)までに以下のものを当支部まで**持参又は郵送**にて提出してください。試験日後6ヶ月以上経過して申請する場合には、新たに写真1枚が必要になります。

郵送で提出する方は、当支部宛の封筒の中に以下のものをすべて入れて、送ってください。

① 免状交付申請書及び結果通知書

結果通知書の右側が免状交付申請書となっていますので、**切り離さないで**、右上に申請日・申請者名(合格者名)・電話番号を記入し、印字された内容に間違い及び印字もれがないか確認してください。

(間違いがある場合は赤ペンで訂正してください。)

② 交付手数料

2,900円の岩手県収入証紙を申請書裏面に貼ってください。複数種類の申請をする方は、それぞれの申請書に収入証紙を貼ってください。

岩手県収入証紙売りさばき所……県内各広域振興局・県庁・市町村役場・交通安全協会等

(他の売りさばき所については、岩手県出納局のホームページをご覧ください。当支部にお電話ください。)

なお、岩手県以外にお住まいの方で、岩手県収入証紙の購入が困難な方は、郵便局の「定額小為替」又は「現金書留」で申請してください。

③ 危険物取扱者免状

危険物取扱者免状を既に取得している方は、その免状を必ず提出してください。

既得免状を紛失(亡失)されている方は、必ず再交付の申請手続きを行ってください。

④ 新規免状送付用封筒

当支部から申請をした方に新しい免状を送る為の封筒です。(定形封筒 長さ14~23.5cm×幅9~12cm)

簡易書留で送りますので、封筒には**404円分**(簡易書留郵送料、令和5年4月1日現在)の切手を貼ってください。

なお、あて先は、確実に郵便物を受け取る方がいるところにしてください。(下記の作成例参照)

複数種類の申請をする方も、送付用封筒は1枚で結構です。

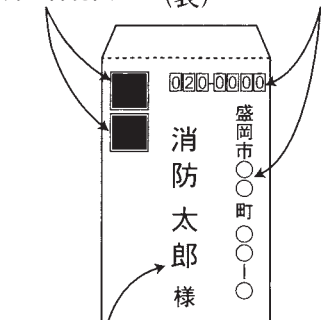
※免状送付用封筒の作成例 (「運転免許証」を同封できる程度の大きさの定形封筒)

404円分の切手を
貼ってください。
(令和5年4月1日現在)

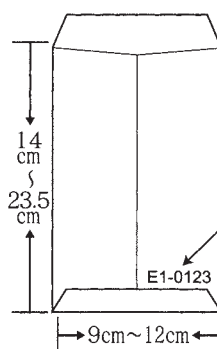
(表)

自宅(勤務先可)の
郵便番号・住所を
書いてください。

(裏)



申請者(合格者)の氏名を書いてください。



裏に受験番号を
記入してください。

- ① 受験願書は、本人が記入してください。
- ② A面及びB面があり、複写式になっています。折ったり、曲げたりしないでください。
- ③ 黒色のボールペンで、かい書で正しく書いてください。
- ④ 書き損じた場合は、横2本線を引いて、そのすぐ上に正しく書いてください。(訂正印の必要なし)
- ⑤ 年月日を記入するすべての欄は、1桁の数字の場合、0を前に付けてください。
- ⑥ 赤書部分は記載例です。

- 14 -

13 受験願書記入例（B面おもて）

受験願書

※ ☐

申請日 00 年 00 月 00 日

マタサブ・ロウ

又三郎

本籍 岩手 都道府県 ☐

宅電話番号 019-654-7006

携帯電話番号

勤務先等連絡先 (株)〇〇スタンド

連絡先電話番号 090-1234-5678

内線()

※1

※2 2 駒

※3 資格

※4 66 66

振替払込受付証明書(お客さま用)
(ご依頼人へ郵便局・ゆうちょ銀行へご依頼人)

払込金額 ￥0000

加入者名 一般財団法人 消防試験研究センター

00170-3-136220

受験願書添付用

住所 岩手県盛岡市中町字花園1-9-14 岩手アパート123号

又三郎

019-654-7006

(承認番号東証第2015号)

00.00.00

88001

日附印なし証明書 無効
(払込人へ消防試験研究センター)

※受付欄

※受験番号

郵便局又はゆうちょ銀行の
日附印を確認してください。

※ ☐

(B面)

試験手数料の払い込み方法

- ① 当センター指定の3連式払込用紙に、金額・住所・氏名・電話番号等を記入してください。
- ② 郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で、所定の試験手数料を払い込んでください。
(別途、払込手数料が必要です。)
- ③ 日附印が押印された「振替払込請求書兼受領証」と「振替払込受付証明書(お客さま用) 受験願書添付用」が渡されますので、このうち、「振替払込受付証明書(お客さま用) 受験願書添付用」を受験願書B面指定欄に全面的り付けしてください。

必ず「振替払込受付証明書(お客さま用) 受験願書添付用」を貼ってください。
それ以外のものは、受理できません。

本人控え受領証 願書添付用

00 東京 払込取扱票

001703136220

一般財団法人 消防試験研究センター

(承認番号 020-0015)

住所 岩手県盛岡市中町字花園1-9-14 岩手アパート123号

氏名 風野 又三郎

(電話 019-654-7006)

金額 ￥0000

00.00.00 88001

振替払込請求書兼受領証

001703136220

一般財団法人 消防試験研究センター

00170-3-136220

受験願書添付用

住所 岩手県盛岡市中町字花園1-9-14 岩手アパート123号

氏名 風野 又三郎

(電話番号 019-654-7006)

00.00.00 88001

振替払込受付証明書(お客さま用)
(ご依頼人へ郵便局・ゆうちょ銀行へご依頼人)

払込金額 ￥0000

加入者名 一般財団法人 消防試験研究センター

00170-3-136220

受験願書添付用

住所 岩手県盛岡市中町字花園1-9-14 岩手アパート123号

又三郎

019-654-7006

(承認番号東証第2015号)

00.00.00 88001

日附印なし証明書 無効
(払込人へ消防試験研究センター)

はがれないよう、しっかりとのり付けしてください。

「振替払込受付証明書(お客さま用) 受験願書添付用」を紛失、汚損等により願書に貼付できない場合、当センターでは責任を負えません。紛失、汚損等した場合は再度払込みをしてください。なお、紛失し、後日発見した場合は、申し出により払戻いたします。

14 受験願書記入例（B面うら）

各種証明書等貼付欄

この部分にのりづけしてください。
なお、この部分に「振替払込受付証明書」は貼付しないでください。

甲種の受験資格を証明する書類、乙種及び丙種受験者で試験科目の一部免除に該当する事を証明する書類を貼ってください。

都道府県等コード表

北海道 01	福島 07	東京 13	山梨 19	滋賀 25	鳥取 31	香川 37	熊本 43
青森 02	茨城 08	神奈川 14	長野 20	京都 26	島根 32	愛媛 38	大分 44
岩手 03	栃木 09	新潟 15	岐阜 21	大阪 27	岡山 33	高知 39	宮崎 45
宮城 04	群馬 10	富山 16	静岡 22	兵庫 28	広島 34	福岡 40	鹿児島 46
秋田 05	埼玉 11	石川 17	愛知 23	奈良 29	山口 35	佐賀 41	沖縄 47
山形 06	千葉 12	福井 18	三重 24	和歌山 30	徳島 36	長崎 42	外国籍 99

乙種危険物取扱実務経験証明書

氏名	風野 又三郎		昭和60年 10 月 6 日生
取り扱った危険物	第 4 類	品名	ガソリン・灯油
取り扱った期間	令和2年 4 月 1 日から 令和5年 3 月 16 日まで (2 年 11 月)		
製造所等の区分	・製造所	・貯蔵所	・取扱所
上記のとおり相違ないことを証明します。 証明年月日 令和5年 3 月 17 日			
事業所名	株式会社 ○○スタンド		
証明者 役職	代表取締役社長		
証明者 氏名	盛岡 太郎		
証明者 電話	019 - 622 - 0922		

甲種受験者で「実務経験2年以上」を受験資格とする場合のみ記入し、事業所の証明を得てください。(会社印、証明者の印の押印を忘れずに受けてください。)

他の証明書でも証明内容が充足していれば支障ありません。

他の受験資格で受験される方、甲種以外を受験される方は、必要ありません。

試験を受験する方は、事項が記入されておの。を貼付して下さい。3第4項第1号及び

事業所等の印

証明者の印

既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄

危険物取扱者講習の状況		
修了年月日	講習実施機関	証印
(備考)		

危険物取扱者免状			
氏名	風野 又三郎		
生年月日	昭和60年10月06日		
本籍	岩手県		
種類等	交付年月日	交付番号	交付知事
甲種			
乙種1類			
乙種2類			
乙種3類			
乙種4類	H21. 07. 20	00333	岩手
乙種5類			
乙種6類			
丙種	H18. 12. 25	00554	宮城

写真

写真の書換えは
○○年
○月○日まで
0123 4567 8901
○○○知事

試験の科目免除等にかかわらず、危険物取扱者免状をお持ちの方は必ず免状のコピーを貼付してください。

(B面裏)

〈甲種の受験資格関係資料〉

別表 1

化学に関する学科等の例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 2 次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称							
ア	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製造薬学科	フ	物質生物科学科
イ	医療薬学科		厚生薬学科		生体機能応用工学科		物質生物工学科
エ	衛生薬学科		高分子学科		生体物質工学科		物質生命工学科
オ	応用原子核工学科		高分子工学科		生体分子工学科		物質生命システム工学科
	応用生物科学科		高分子材料工学科		生物応用工学科		物質分子科学科
	応用生物工学科	サ	材料開発工学科		生物機能工学科		物質分子学科
	応用生命科学科		材料科学科		生物工学科		物質理工学科
	応用生命工学科		材料科学工学科		生物資源科学科		プロセス工学科
	応用微生物工学科		材料加工学科		生物資源利用学科		分子工学科
カ	環境生命科学科		材料学科		生物生産科学科		分子システム工学科
	環境物質工学科		材料機能工学科		生物分子科学科		分子生物学科
	環境マテリアル学科		材料工学科		生物薬学科		分子生命科学科
キ	基礎理学科		材料物性学科		精密素材工学科		分子素材工学科
	機能高分子学科		材料物性工学科		精密物質学科	マ	マテリアル科学科
	機能高分子工学科		材料プロセス工学科		生命理学科		マテリアル工学科
	機能材料工学科	シ	色染工芸学科		製薬学科	ム	無機材料工学科
	機能物質科学科		資源工学科		繊維工学科	ヤ	冶金学科
	機能分子工学科		資源素材工学科		繊維高分子工学科		冶金工学科
	金属加工学科		システム量子工学科	ソ	総合薬学科		薬科学科
	金属学科		食品科学科		総合薬品科学科		薬学科
	金属工学科		食品学科		素材工学科		薬剤学科
	金属材料学科		食品工学科	ト	塗装科		薬品科学科
	金属材料工学科		食品工業科学科	ハ	醗酵工学科	ユ	有機材料工学科
ケ	原子工学科		食料科学科		醗酵生産学科	ヨ	窯業工学科
	原子力科		森林資源科学科	フ	物質科学科	リ	林産学科
	原子力工学科	セ	製剤学科		物質科学工学科		林産工学科
	原子炉工学科		製糸学科		物質工学科		

別表 2

化学の授業科目例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 進化学等)
- 2 次の表に示す授業科目

化 学 の 授 業 科 目 の 名 称							
ア	アモルファス物性工学	オ カ	応化・プロセス工学	カ	化工流体工学	キ	機能性高分子材料学
	安全管理学		回折結晶学		化石エネルギー		機能性材料工学
	安全工学		界面工学		火薬学		機能性触媒工学
	安全防災工学		界面制御学		ガラス工学		機能性有機材料
イ	移動現象論		界面電子工学		ガラス材料		機能セラミック論
	移動速度論		界面物性		ガラス状態論		凝固論及び結晶生成
	医薬品安全性学		科学史		ガラス物性		金相学
	医薬分子設計学		核燃料工学		環境汚染物質分析学		金属学
エ	医用高分子機能学		核燃料サイクル特論		環境物質工学		金属加工学
	衛生工学		核融合概論		感光物性論		金属工学
	衛生薬学		核融合工学概論		岩石学		金属材料学
	栄養学		化工熱工学		官能基変換論		
	エレクトロセラミックス		化工熱力学		機器分析		
	エレクトロニクス材料工学		化工物理学		機能高分子学		

化 学 の 授 業 科 目 の 名 称									
キ	金属材料工学	サ	材料開発工学	セ	生体分子反応	テ	電気材料学		
	金属製錬学		材料科学		製鉄製鋼耐火物		電気電子材料科学		
	金属組織学		材料加工学		生物機能開発学		電気電子材料学		
	金属の相変態		材料強度学		生物機能工学		電極反応論		
	金属表面处理		材料強度物性学		生物機能利用学		電子材料		
	金属物性		材料結晶学		生物工学		電子物性		
	ケ		計算溶液特論		材料工学		生物資源科学	ト	伝熱工学
			結晶回折		材料構造解析学		生物資源利用学		同位体地球科学
			結晶材料工学		材料精製工学		生物反応工学		毒劇物学
			結晶評価工学		材料精密工学		生物物性学		特殊機能セラミックス
原子エネルギー工学		材料組織学	生物分子科学	毒性学					
原子核工学		材料組織形成論	生物薬学	毒物学					
原子力工学		材料熱力学	精密材料物性	土壤学					
原子炉材料学		材料反応学	精密素材工学	塗装学					
原子炉燃料		材料物性学	精密分離工学	塗料工業科学					
コ		高温材料	材料物理工学	精密有機合成特論	ニ ネ	ニューセラミック学			
	高温反応工学	材料プロセス設計	製薬学	燃焼学					
	光学活性体合成論	錯塩基及び酸化還元	生理活性物質学	燃焼工学					
	高機能材料特論	産業廃水処理	精錬漂白論	燃焼熱工学					
	高機能材料プロセス特論	色彩工学	石油開発工学	燃焼物理科学					
	工業火薬学	色染実験	石油生産工学	粘土工学					
	工業材料	システム安全工学	接合学	燃料工学					
	工業排水処理	焼結固体反応論	接着及び接着剤	燃料工業					
	工業爆薬学	焼成材料	接着学	燃料燃焼潤滑論					
	工業反応速度論	醸造学	セメント工学	燃料燃焼論					
	工業微生物学	醸造工学	セラミック科学	ノ ハ	燃料分析学				
	工業分析	醸造工業概論	セラミック基盤材料		農薬学				
	格子欠陥	状態方程式特論	セラミック工学		バイオテクノロジー				
	公衆衛生学	触媒工学	セラミック材料学		バイオプロセス工学				
	高重合反応	触媒設計	セラミックス概論		培養工学				
	合成鉱物	触媒反応工学	セラミックス材料工学		爆発工学				
	抗生物質	食品衛生学	セラミックス電子材料		薄膜材料工学				
	厚生薬学	食品栄養学	セラミックプロセッシング		醗酵学				
	合成薬品製造学	食品科学	セルロース科学		醗酵工学				
	構造用金属材料	食品工学	繊維高分子工学		醗酵工業論				
	酵素利用学	食品工業微生物学	選鉱学	ヒ	醗酵生産学				
	鋼中非金属介在物	食品分析学	先端材料物性特論		パルプ学				
	鉱物学	植物分子生物学	ソ 相平衡論		パルプ工学				
	高分子科学	人工結晶	相変態論		半導体工学				
	高分子学	人造繊維工学	素材工学		半導体材料				
	高分子工学	新薬論	タ 耐火物概論		半導体デバイス工学				
	高分子合成	水質学	耐熱材料特論		反応工学				
	高分子構造	製剤学	多結晶材料工学		反応性物質材料				
	高分子固体構造論	製剤工学	単位操作		反応操作				
	高分子コロイド科学	製紙科学	単位反応学		反応速度論				
	高分子材料学	製紙学	単結晶材料工学		非金属材料				
	高分子反応	製紙工学	蛋白質工学		非晶質科学				
	高分子物性論	製造薬学	チ 超高温材料		微生物遺伝学				
	固相変態論	生体機能工学	調剤学		微生物学				
	固体反応	生体機能電気科学	テ 鉄鋼材料学		微生物機能学				
	固体表面科学	生体機能利用学	鉄鋼表面处理		微生物工学				
	固体物性論	生体工学	鉄冶金		非鉄材料学				
	固体平衡論	生体高分子学	定性分析		非平衡論				
	コロイド学	生体触媒学	定量分析		表面・界面工学				
	サ	細胞培養学	生体光反応学		電解製錬工学	表面工学			
材料解析		生体分子工学	電解反応	表面分析					

化 学 の 授 業 科 目 の 名 称							
ヒ	肥料学	フ	分子機能	ム	無機材料工学	ユ	有機構造解析
フ	ファインケミカル工業分析		分子機能設計学		無機電子制御反応		有機材料工学
	複合材料機能学		分子構造論		無機薬品製造学		有機材料工業論
	腐食及び防食学		分子シミュレーション特論	メ	免疫薬剤学		有機材料設計
	物質移動プロセス特論		分子情報計測学	モ	木材化学		有機材料表面科学
	物質科学		分子生物学		木材成分学		有機材料物性
	物質工学		分子生物学		木材糖化論		有機材料レオロジー
	物質構造解析論		分子設計論		木質材料学		有機電解合成論
	物質構造論		分子素材工学		木質資源化学		有機反応機構
	物質生科学		分子熱力学		木質資源工学		有機反応論
	物質生物工学概論		分子微生物学	ヤ	冶金学		有機分析学
	物質プロセス工学		分子薬理学		冶金工学		有機薬品製造学
	物質分析法		粉体工学		冶金反応工学		融体物有機材料電子物性
	物性科学		分離科学		薬科学	ヨ	窯業工学
	物性子測論		分離工学		薬学		窯炉工学
	物性論		分離システム工学		薬剤学	リ	粒子線結晶学
	物体学		分離装置工学		薬品学		量子分光学
	物理薬学		粉粒体工学		薬品工業概論		量子力学
	プラントエンジニアリング	ヘ	平衡論		薬品製造学		林産学
	プロセス工学		平衡・反応論		薬品製造工学		林産工学
	プロセスシステム工学	ホ	放射線計測学		薬品分析学		林産製造学
	プロセス制御工学		放射線物性計測学		薬物学		林産物製造学
	プロセスダイナミクス	マ	膜機能工学		薬用植物学		臨床薬学
	プロセス熱力学		マテリアル工学		薬理学		臨床薬理学
	分光分析	ミ	水処理工学		薬効学	レ	レオロジー
	分散系物性学		水処理実験	ユ	有機機器分析		
	分子遺伝学		水の分子工学特論		有機機能性材料		
	分子解析学	ム	無機材質学		有機金属		

書式例 1 専修学校用受験資格証明書

〇〇第 号

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書(専修学校用)

〇〇 年 月 日 入学 〇〇科〇〇コース

〇〇 年 月 日 修了

氏名 〇〇 〇〇

年 月 日 生

学校教育法第124条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号 〇〇 年 月 日 号	
課程の名称	〇〇〇〇専門課程
修業年限	2 年
課程の修了に必要な総授業時数	1700 時間

上記のとおり証明する。

年 月 日

(専修学校の所在地)

〇〇専門学校 学校長 氏名 〇〇 〇〇印

(注1) 証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

書式例 2 単位修得証明書

〇〇第 号

単位修得証明書

〇〇 年 月 日 入学 〇〇部 〇〇科

〇〇 年 月 日 修了

氏名 〇〇 〇〇

年 月 日 生

化学に関する 科目名	修得 単位	化学に関する 科目名	修得 単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃焼工学	3	反応速度論	2

上記のとおり証明する。

年 月 日

〇〇大学 学長 氏名 〇〇 〇〇印

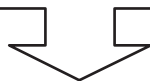
(注1) 証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

(注2) 学長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

願書作成の最終チェック

○	チェック項目
	「振替払込受付証明書（お客さま用） 受験願書添付用 」を貼りましたか。
	受験資格又は科目免除を受けるための資格を証明する書類等を貼りましたか。（該当者のみ）
	危険物取扱者免状の交付を受けている方は、その免状のコピーを貼りましたか。（該当者のみ）
	試験日・試験種類・受験地を確認しましたか。 その受付期間を確認しましたか。

岩手県支部に危険物取扱者試験受験願書を郵送する際、宛名ラベルとして使用してください。



.....✂キ リ ト リ✂.....

.....✂キ リ ト リ✂.....

020-0015

盛岡市本町通1-9-14 JT本町通ビル5階

一般財団法人

消防試験研究センター 岩手県支部 行

危険物取扱者試験受験願書在中